

論点

2019年10月18日

未来投資会議 産官協議会「FinTech/キャッシュレス化」第1回
内閣官房日本経済再生総合事務局

1. オープンAPI (Application Programming Interface) について

【論点】

オープンAPIについて、我が国の経済成長に資する利便性の高く開かれた金融サービスが提供されうる環境が整備されているか。

- ・ KPI の達成状況
- ・ FinTech 実用化等イノベーションの推進

API の接続条件について、民間事業者間の契約であることを踏まえつつ銀行及び FinTech 企業の双方に Win-Win の関係構築を促すためどのような対応をすることが考えられるか。

- ・ その他、経済成長に資する FinTech 実用化等イノベーションの推進に向けた課題はあるか。

(参考) 成長戦略フォローアップ抜粋

2. フィンテック/金融分野

(1) KPI の主な進捗状況

《KPI》2020年6月までに、80行程度以上の銀行におけるオープンAPIの導入を目指す。

⇒2019年3月時点において、全邦銀（除く外国銀行支店）138行のうち、130行がオープンAPIの導入を表明。130行中124行が2020年6月までの導入を表明。

(2) 新たに講ずべき具体的施策

iii) Fintech の実用化等イノベーションの推進

- ・ オープンAPIを提供する銀行の数や銀行と電子決済等代行業者との間の接続状況・接続条件等をフォローアップし必要に応じて公表するとともに、APIを利活用したサービスの好事例の共有等を行う。
- また、APIの接続条件については、民間企業間の契約であることを踏まえつつ、銀行及びFinTech企業の双方がWin-Winの関係になるよう促しつつ、API連携を推進する。

2. 民間事業者による革新的な本人確認の実装支援等について

【論点】

- ・ 犯収法施行規則の改正により可能となったオンラインで完結する本人確認の手続きを活用した民間事業者による革新的な本人確認の実装支援の状況と課題等

(参考) 成長戦略フォローアップ抜粋

2. フィンテック/金融分野

(2) 新たに講ずべき具体的施策

i) イノベーションの進展を踏まえた法制度の見直し

民間事業者による革新的な本人確認の実装支援（中略）について検討し、本人確認の高度化・迅速化を推進する。